

私は公明党を代表し、ただ今議題となっております議案第1号令和4年度野田市一般会計予算、並びに議案第2号から第5号までの各特別会計予算4件、及び議案第6号令和4年度野田市水道事業会計予算並びに議案第7号野田市下水道事業会計予算全てに賛成する立場で討論します。

日本経済は長引く新型コロナウイルス感染症の影響のもと昨年9月末の緊急事態宣言及びまん延防止等重点措置の解除以降は厳しい状況は徐々に緩和されておりましたが、本年1月からのオミクロン株による感染拡大が発生をいたしました。最近各市でまん延防止解除などの状況となりつつありますが、いまだコロナの終息が見えない中、先月のロシアによるウクライナ侵攻で世界経済及び日本経済の明るい見通しが不透明な状況かと思えます。

野田市の令和4年度予算編成にあたっては厳しい財政状況の中、一般会計では予算規模が531億7,100万円、対前年度比4.3%の増額、過去最大の予算規模となっています。歳入については個人、法人市民税とも新型コロナウイルスの影響を受けつつも落ち込みは最小限に抑えられたことで大幅な増額見込みとなります。固定資産税も増額となっています。普通交付税は増額の見込みとなっておりますが、臨時財政対策債は減額となり、市税全体としては9億1,500万円の増額と見込んでいます。また、将来を見据えた財政調整基金の収支均衡を図ったことについては評価をいたします。総じて必要な財源の確保が一段と厳しい中、経費の聖域なき見直しを行い、プライマリーバランスを考慮されての現実を直視した予算編成であると評価をいたします。

次に歳出について申し上げます。総務費ではシティプロモーション事業費、コミュニティバス運行事業補助金、防犯推進費は評価します。今後マイナンバーカードの活用が多方面に加速されますので、さらなる普及に取り組んでいただきたいと思えます。

民生費では児童館整備費、生活困窮者自立支援事業費、重層的支援体制整備事業費、移動支援給付費、ひとり親家庭等援護対策費、子ども医療費助成事業費は評価をいたします。将来的に子ども医療費については高校3年生までの無償化については要望とさせていただきます。

衛生費では健康・スポーツポイント事業費、骨髄移植におけるドナー支援事業費、新清掃工場建設事業費など評価をいたします。

労働費では勤労者職業能力開発費では再就職及び自身のスキルアップなど学び直しとしても大変貴重な事業となっていますので、さらなる充実を要望いたします。

農林水産業費では農産物ブランド化推進事業費、地域農政推進事業費、農道維持管理費です。

商工費では創業スクール事業補助金、道の駅整備検討費、中小企業融資資金利

子補給金、買物弱者対策費です。

土木費では橋梁長寿命化事業費、連続立体交差事業費、野田市駅西土地地区画整理事業、愛宕駅西口駅前広場等整備事業、梅郷駅西土地地区画整理費、舗装補修費、各種交通安全施設整備費、都市河川整備事業費、市民の森管理費、生物多様性自然再生事業は評価をいたします。

消防費ではAED借り上げ料、資格取得研修負担金、無停電照明装置設置工事費、消防団拠点施設整備費、災害対策諸費、自主防災組織整備育成事業です。

教育費では、子ども未来教室事業費、国際理解教育推進事業費、情報教育振興費、小学校トイレ改修事業費、高齢者向けスマホの使い方講座委託料は評価をいたします。

また、国民健康保険特別会計並びに、各特別会計及び水道事業会計、下水道事業会計におきましても、それぞれの法及び条例に基づき必要な予算執行がなされているものと評価いたします。

最後になりますが、予算執行にあたっては、最小の経費で最大の効果を上げることが求められておりますので、国の動きも見ながらも野田市として魅力あふれる市民の視点に立った公平性、透明性の確保をはじめ、市民のニーズに合った無駄のない予算執行を要望し、賛成討論といたします。